

No.	⑯	分類	2-(1)-イ	資料名	やさしいまち	学年	3・4年	領域	総合的な学習の時間
-----	---	----	---------	-----	--------	----	------	----	-----------

1 ねらい

- 身の周りや自分たちのまちの中にあるバリアフリー等について調べ、思いやりの心や共生の心を大切に、他者を尊重しようとする。

2 活用上の留意点

- 小学校低学年用教育資料『ほほえみ』の「さがして みよう」の発展として活用できる。
- 学級に障害のある児童が在籍している場合、児童や保護者の願い等を十分把握し、連携を保ちながら指導する必要がある。

3 掲載資料の解説

○ 「やさしさ」の写真

バリアフリーだけでなく、ユニバーサルデザインについて考えることができる写真を掲載した。

- ① 自動販売機の小銭投函場所が広く、小銭をまとめて投入することができる。上段の購入ボタンが販売機中央にもあり、小さい子どもや車いす利用者も購入しやすい。商品取り出し口は自動で開く。【県庁3号館】

- ② 緊急時に緑のランプが回り、聴覚に障害のある方に非常事態であることを知らせる。
- ③ 背の高い人、低い人、子ども用など、自分に合った高さの手すりを使うことができる。
- ④ エレベーター奥には、後方安全確認用鏡がある。左側のいすは、使わない時は上げておくこともできる。押しボタンは低く設置され、ドアを開けておく「延長」ボタンもある。

【②③④三田市総合福祉保健センター】

- ⑤ この案内板は、行き先のバス停名を点字ボタンで入力すると、音声ガイドが何番乗り場から乗車すればよいか自動的に音声で答えてくれるなどの機能がある。【阪急伊丹駅前広場】

- ⑥ 高さのちがう台は、子ども、車いす利用者等、自分に合った高さの台を使うことができる。

- ⑦ 段差のないスロープは、車いす利用者、台車、ベビーカー等が通るときにも便利である。

【篠山市立城南小学校】

- ⑧ 親子で一緒に使え、おむつを替える台があるため小さな子のいる方にも便利である。また、洋式トイレには手すりもついているため、足腰が弱い方にも便利である。

【⑥⑧篠山市立中央図書館】

- ⑨ 多言語で書かれている駅構内の表示。観光客や外国語を主とする方に便利である。【JR三ノ宮駅】

- ⑩ 右上のボタンをクリックすると、背景や文字の色が変わり、自分の見やすい色で読むことができる。音声読み上げ機能もついている。【兵庫県ホームページ】


○ 心のバリアフリー



まちの中では、点字ブロックやスロープの設置など、視覚に障害のある方や車いすを利用する方が生活しやすい環境が広がっている。しかし、すべての場所が整備されているわけではない。

そんなときに大切なのは、周りの人の声かけや助け合いである。2枚の写真をきっかけに、支援の方法を学ばせたい。

○ 身のまわりにあるマーク

国際規格のマークや、市・町独自のマークが存在する。マークに込められた願いを知り、身近にあるマークを見つけることで、いろいろな人のやさしさを感じさせたい。

<p>①  【障害者のための国際シンボルマーク】</p> <p>障害者も利用できる建物、施設であることを示す世界共通のマーク。すべての障害者を対象としている。</p>	<p>②  【盲人のための国際シンボルマーク】</p> <p>視覚に障害のある方の安全に考慮された建物、設備、機器につけられた、世界共通のマーク。</p>
<p>③  【兵庫ゆずりあい駐車場】</p> <p>障害のある方などのための駐車スペースを適正に利用するためにつくられた兵庫県の制度。</p>	<p>④  【耳マーク】</p> <p>聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマーク。口を見せてはっきり話したり、筆談したりするなどの配慮が必要。</p>

<p>⑤ 【ほじょ犬マーク】</p>  <p>身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）同伴の啓発のためのマーク。</p>	<p>⑥ 【優先座席】</p>  <p>身体障害者、妊婦、乳幼児連れ、高齢者などの着席を優先させる座席マーク。 (JR 西日本)</p>
---	--

4 展開例

【導入】どんな「やさしさ」があるのでしょうか。

<ねらい>
身の周りや自分たちのまちには、様々な「やさしさ」があることを理解する。

<活動>

- それぞれの写真は、どのような工夫があるかを考える。

【研究課題・活動課題の例】

- 「バリアフリー」について調べよう。
- 「ユニバーサルデザイン」について調べよう。
- ※ バリアフリーは、障害者が社会生活をしていくうえで障壁（バリア）となるものを除去するという考え方。
- ※ ユニバーサルデザインは、すべての人々にとって、できる限り利用可能であるように、製品、建物、環境をデザインするという考え方。



【展開1】まちでこんな場面を見かけました。

<ねらい>
思いやりの心や共生の心の大切さを理解する。

<活動>

- 障害のある方が安心して生活するには、何が必要かを考える。
- いろいろなマークは、なぜ身の周りにあるのかを考える。
- 身の周りにある「やさしさ」を調べる。
- 地域に出かけて、どのような「やさしさ」があるかを調べる。

【研究課題・活動課題の例】

- 自分たちのまちの福祉に関するマークを調べよう。
- 地域に住む高齢者や障害のある方から話を聞いてみよう。
- 身の周りや地域には、どんな「やさしさ」があるか調べよう。



【展開2】いろんな方法で発表しましょう。

<ねらい>
調べたことをさまざまな方法で発表する。

<活動>

- 調べたことを効果的に発表する方法を考える。
- 校内や公共施設等で発表する。
- 「やさしいまちづくりプラン」を作成する。

【研究課題・活動課題の例】

- 調べたことをまとめて、学校や地域で発表しよう。
- 自分たちのまちについて「やさしいまちづくりプラン」を作ってみよう。